



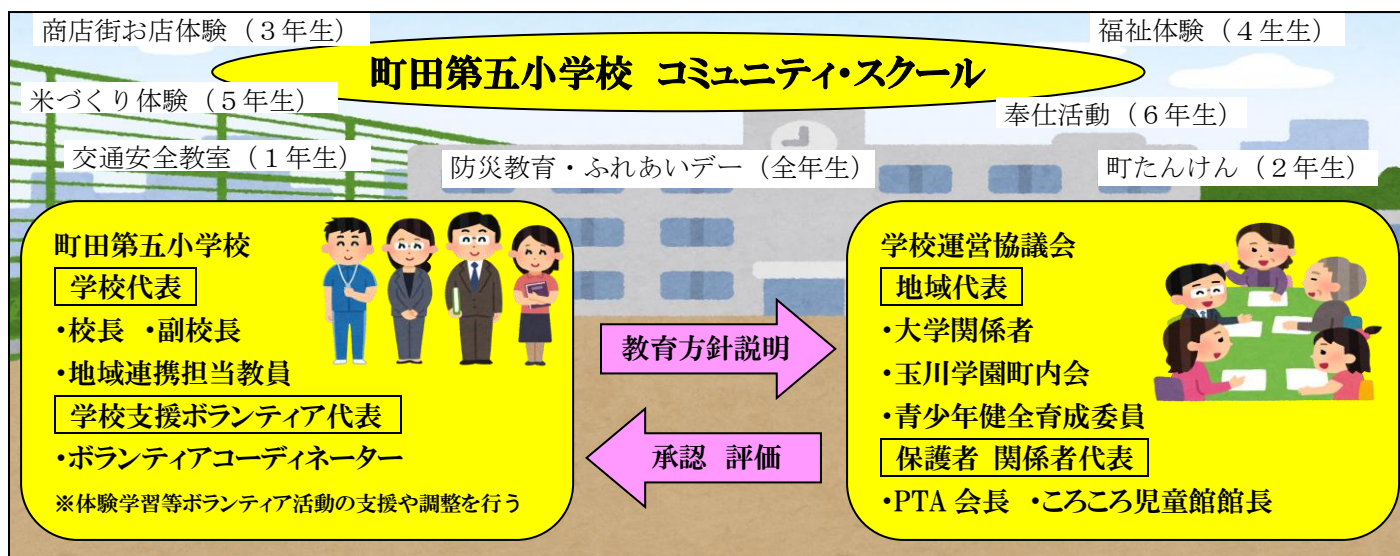
コミュニティ・スクール

～Community School 地域とともに子供を育てる～

校長 米山 哲也

コミュニティ・スクール(Community School)という、地域や保護者のニーズを学校の教育活動に反映させるため、各々が積極的に学校運営に参画できる形態があります。これは1930年代のアメリカで社会改造の一環として誕生した仕組みで、日本でも地域住民や保護者代表、ボランティア等で構成された「学校運営協議会」を置く学校をコミュニティ・スクールと称しています。

現代社会では、子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、学校と地域の連携・協働が重要となっています。「地域とともにある学校」を目指す町田市では、学校が地域の方々と教育目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育むため、2021年、学校運営協議会を設置する制度を導入し、市内全小中学校がコミュニティ・スクールへと移行されました。



学校運営協議会は、「学校の応援団」となり、学校の困りごとについての解決策を助言するとともに、教育方針の承認や教育活動の評価をします。また、学校運営協議会で地域協働活動を計画し、地域連携担当教員やボランティアコーディネーター(以下 VC)が中心となり、体験学習などを計画・実施します。

本校は開校62周年という伝統のある学校です。これまでも、地域の方々や保護者の皆様の協力、VCの地道な努力により、地域協働の体制を築いてきました。今後も、学校や子供を中心として、できるだけ多くの人々がつながり、それぞれの経験や知識を生かすことで学校や地域はさらに元気になっていくことでしょう。今後も、この玉川学園の未来を担う人づくりや地域づくりにつなげるため、地域・保護者の皆様との連携を強化していきます。ぜひ、本校の教育活動へのご協力をお願いいたします。